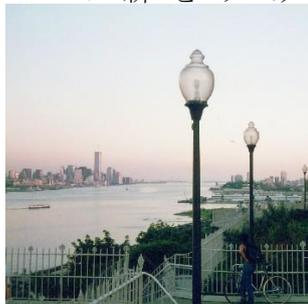


アメリカ滞在記 ②  
ニューヨーク（NY）に遊ぶ

霧野萬地郎

▼NJに滞在中は幾度となくマンハッタンを訪れた。NY州の行政上の州都はNYCの220キロ北のオールバニに置かれている。しかしながら、アメリカ最大の都市NY市、わけ

でも、マンハッタンは世界の経済を牽引し、更に、最新の芸術文化などの発信地となっている。正に、このマン



ハドソン川とその先の摩天楼

ハッタンが州の中心で、且つ、米国の、世界的な存在なのだ。

マンハッタン島は東西約4 km、南北約20 kmで細長い形状で、面積は、東京の山手線の内側にほぼ相当する。一枚の岩盤で成っているため、高層ビルの建設に適している。

1626年、オランダ西インド会社がマンハッタンを「インディアンたちから24ドル

相当で買い取った」と言われている。島はニューヨークと命名されたが、やがて、英蘭戦争で勝利した英国が市名をニューヨークに改名し現在に至っている。アメリカ独立戦争の舞台にもなり、独立後は一年だけ首都になった。

自宅からも、オフィスからも車で25セントコインを集金箱に投げ入れて鉄橋、或いは、地下トンネルでハドソン川を渡れば、20分ほどでマンハッタン島の中心部に入った。

自由の女神、エンパイアステートビル、今は無い世界貿易センターのツインビル、メトロポリタンや、当時はまだピカソの「ゲルニカ」が展示されていた近代美術館、ヤンキースタジアム、国連本部など見どころは豊富だ。道路は島を南北に1番アベニューから9番アベニューが走り、東西に225のストリートが整然とほぼ楡目状に作られているので、運転は楽だった。日本からの出張者を案内したり、休日に家族と巡るのは楽しみでもあった。駐車場の値段は破格に高かったが、訪ねる価値は十分にあった。

▼親しい3夫婦で持ち回りの世話役を決め

て、毎月一度、マンハッタンの自薦・自慢料理店を選択して美食を楽しんだ。超高価なフランス料理、中華街の安くて美味しい合記飯店（田螺の絶妙な味）、他にもピザのリトルイタリーや蟹の専門店、日本料理店など、世界中の料理が集まっていた。

▼ブロードウェイのミュージカルへは何度も足を運んだ。「オペラ座の怪人」「キャッツ」など一級品を楽しめた事は何よりだった。ユル・プリンナーの最後の公演だった「王様と私」は特に印象が強く残っている。

オフ・ブロードウェイも訪ねたことはあるが、残念ながら記憶に残る作品は少ない。▼12月のロックフェラービルの大聖樹の点灯式はNY市のハイライトの一つだ。このビルを日本企業が買収し反日感情が起きた時だったが、その瞬間は誰もが歓声を上げた。

星飛ぶや国連ビルの旗の列

冬海に一点自由の女神の灯

夜焚火やウエストサイドは倉庫街

▼NJの自宅からハドソン川沿いのパークウェイを一時間ほど北上してNY州のウェストポイント(陸軍士官学校)を訪問する事も幾度かあった。パークウェイは乗用車以外は通行禁止なので、運転は気軽で、周囲の景色が楽しめる。対岸のマンハッタン島の北端からハドソン川に沿って更に北上してNY州オレージ郡に入り目的地へ向う。

1802年に設立されたアメリカ最古の士官学校で、学校の設立以前は要塞だった。敷地面積は65平方キロ以上で、世界で最も広大な敷地を持つ



陸軍士官学校からのハドソン川

学校の一つである。多くの校舎、研究棟、運動施設に加えて、大聖堂、スキー場や射撃場、そして、武器庫や卒業生の戦没者墓地もある。そんな物々しい軍の学校なのだが、一般人も

自由に校内に入れたので、ハドソン川からの風に吹かれながら気持ち良いピクニック気分を味わう事も出来た。

兵器博物館には過去に使われた大砲や銃器などが置かれている。中に日本に投下された原爆のレプリカが展示されている。黒い原寸大の広島へ投下されたリトルボーイ、長崎へのファットマンが異様な姿を見せる。

校舎の中庭にマッカーサーの銅像がある。彼はこの学校を首席で卒業し、第一次世界大戦後、39歳にしてこの校長を勤め、古い体質だった校風を近代的な軍人を育成するべく大胆な改革を行った。高潔で信念を持った軍人だった。太平洋戦争で連合国軍総司令官、占領下の日本での連合国最高司令官として、戦中戦後の日本との関わりは深い。

大戦後、最初に厚木飛行場に進駐し、マッカーサーはその足で横浜のホテルニューグランドに向かった。ニューグランドは1937年にマッカーサーがニューヨークで結婚式を挙げたのち、任地のフィリピンに帰る途中に宿泊した思い出のホテルであった。その後、朝鮮戦争の対応でトルーマン大統領

領により更迭されて帰国したが、英雄マッカーサーの凱旋は熱狂的に歓迎された。退役後、一時は共和党の大統領候補を目指したが、共和党内の支持は広がらず、ウェストポイントの一年後輩のアイゼンハワーが選出された。マッカーサーへの評価は様々あるが、日本からは勲一等旭日桐花大綬章が授与され、米国では、数多の軍歴を賞され、国葬をもって弔られた。ノーフォークにはマッカーサー記念館が作られている。

▼NY市を抜けてもNY州はとても広い。別荘地が多いロングアイランド島、陶磁器生産で有名なコーニングなどは気軽な1〜2泊のドライブで楽しめる。コーニングから更に距離を伸ばして運転すればナイヤガラ滝からカナダへと世界は広がる。摩天楼のマンハッタンとは全く異なる豊かな大自然のNY州を車を走らせて満喫する事が出来た。

### 紅葉かつ散るや陸軍兵学校

身に入むや武器庫に黒きファットマン

続く